

第18回

ISPOR

日本部会

学術集会

日時

12/4(月)

13:00~17:00

場所

星陵会館

13:00 開会の挨拶 小林 慎 (ISPOR 日本部会会長・クレコンメディカルアセスメント株式会社)

13:05-15:00 第1部 シンポジウム

【テーマ】 ケアを費用対効果にどのように反映するのか

座長: 池田 俊也 (国際医療福祉大学)・福田 敬 (国立保健医療科学院)

■13:05-13:10 座長挨拶

■13:10-13:40 基調講演 介護データベースについて

田宮 菜奈子 先生 (筑波大学)

■13:40-13:55 医療費以外の費用の取り扱いについて

池田 俊也 先生 (国際医療福祉大学)

■13:55-14:10 ケアにおける QOL 測定について

白岩 健 先生 (国立保健医療科学院)

■14:10-14:25 情報提供①: 諸外国の医療技術評価機関における

ケア関連費用と QOL の取り扱いについて

高井 まなみ 様 (慶應義塾大学健康マネジメント研究科博士課程)

■14:25-14:40 情報提供②: インフォーマルケアの QOL への

スピルオーバー効果について

森本 航輔 様 (京都大学大学院博士課程・立命館大学 CHEERS)

■14:40-15:00 総合討論

15:15-16:55 第2部 一般演題発表

座長: 小林 慎 (ISPOR 日本部会会長・クレコンメディカルアセスメント株式会社)

■演題1 切除不能胆道癌の一次治療における三剤併用化学療法の費用対効果分析

柏 宗伸 (金沢大学・立命館大学 CHEERS)

■演題2 京都府健診・医療・介護総合データベースを用いた糖尿病性腎症進展モデルの作成

石田 真美 (京都府立医科大学)

■演題3 日本の薬剤耐性 (AMR) による疾病負荷に関する研究の系統的レビュー

湯浅 晃 (ファイザー株式会社)

■演題4 米国の成人2型糖尿病患者における健康管理への積極性評価と社会的支援の役割:

National Health and Wellness Survey (NHWS) を用いた横断研究

酒井 千春 (株式会社社会情報サービス)

■演題5 日本の糖尿病患者におけるグルカゴン様ペプチド-1 受容体作動薬の投与方法、

患者特性および患者報告アウトカムの関連性: 横断的患者調査の結果

ロプレスティ マイケル (株式会社インテージヘルスケア)

■演題6 2型糖尿病の背景因子の違いが医療費・薬剤費に与える影響分析

~ DeSC データベースを用いた検討 ~

亀池 彩乃 (神奈川県立保健福祉大学大学院・東和薬品株式会社)

■演題7 COVID-19 に対する PCR 検査によるスクリーニングの費用対効果に関する定式化

~ 感染症流行における複数の要因について ~

鎌江 伊三夫 (東京大学公共政策大学院)

16:55-17:00 開会の挨拶 小林 慎 (ISPOR 日本部会会長)